

明治期の「浄庵用水(堀)」の流路

秦野 秀明

時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」

((C)谷 謙二)URL <http://ktgis.net/kjmapw/>

を利用して、現在の越谷市荻島地区における明治期の

「浄庵用水(堀)」の流路を確定させた。

明治期の「浄庵用水(堀)」の流路の「定義」(注1)

は、越谷市立図書館蔵「絵図の部 資料番号20 明治期

蒲生・大戸間の河川と道路絵図」(解読者 加藤 幸一・

監修者 鈴木 秀俊)に拠った。

(注1)

明治期の「浄庵用水(堀)」の流路の「定義」

荻嶋村地内字**浄庵**

関(ママ)梓より下、西新井村地内

字**三ツ俣堰梓迄**

浄庵堀通り

一、長千三百五拾八間

※この場を借りて、解読者である加藤 幸一氏と監修者である鈴木 秀俊氏に謝意を記す。

この地図は、

時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷 謙二)

URL <http://ktgis.net/kjmapw/>

を加工して作成。

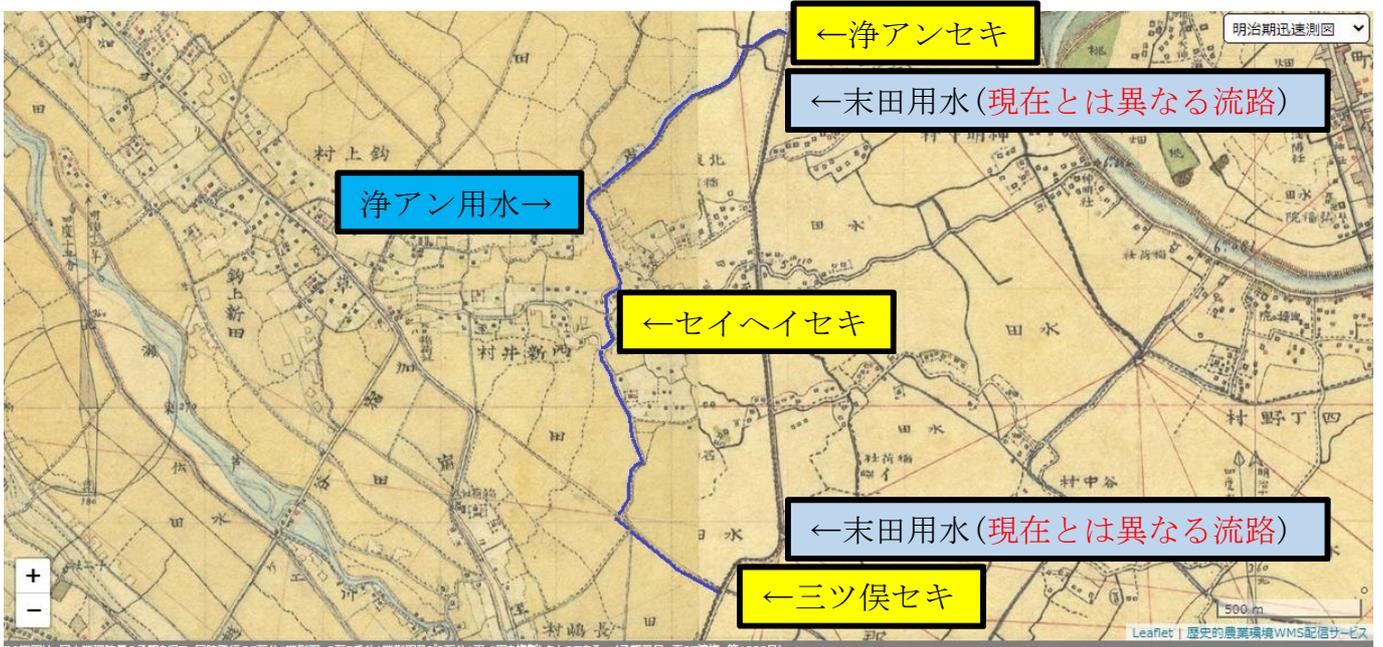
明治期の「浄庵用水(堀)」の流路

※ ①「明治期迅速測図」

明治13年(1880)11月「埼玉県武蔵国南埼玉郡越ヶ谷駅及大澤町近傍村落」

明治13年(1880)11月「埼玉県武蔵国北足立郡大門町及戸塚村近傍村落」

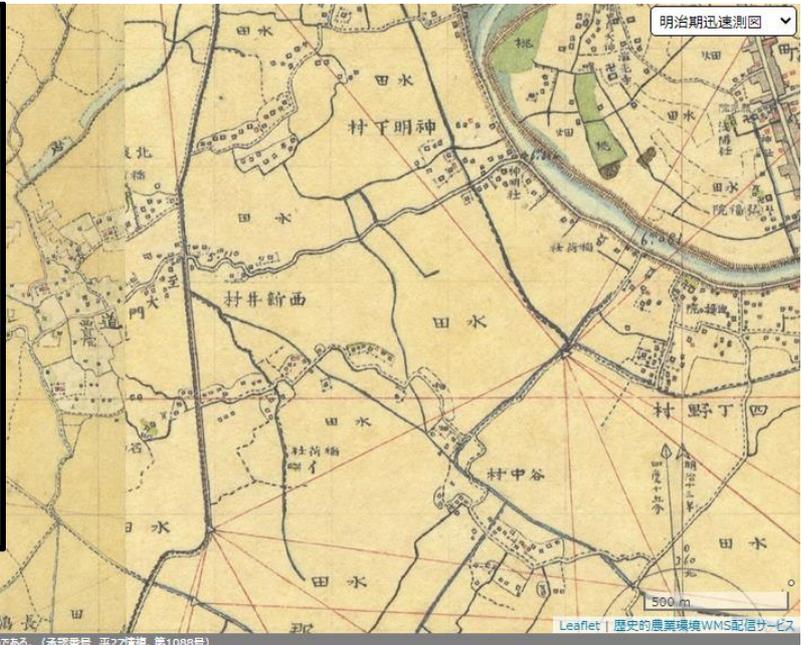
を表示



白扇著 元治元年(1864)八月 『斎藤来由』
では、旧野島村の野島の地蔵尊(浄山寺)
の前の「**浄庵沼**」に身投げした後の遺骸が、
旧西新井村の旧斎藤家屋敷に流れ着いた
ことが書かれている。

この記載は、旧野島村の野島の地蔵尊
(浄山寺)の前から旧西新井村の旧斎藤家
屋敷付近にかけて「広大な沼沢地」が存在
していたと解釈することが可能である。

2015年7月12日に開催されたNPO法人
越谷市郷土研究会「河川史研究倶楽部(現
地誌研究倶楽部)」の巡検の際には、旧西
新井村のT家(屋号は「**浄庵**」)の東側の道
路が、「昔は「**浄庵堀**」と云う水路であっ
た」との言い伝えを、聞き取り調査で確認
している。

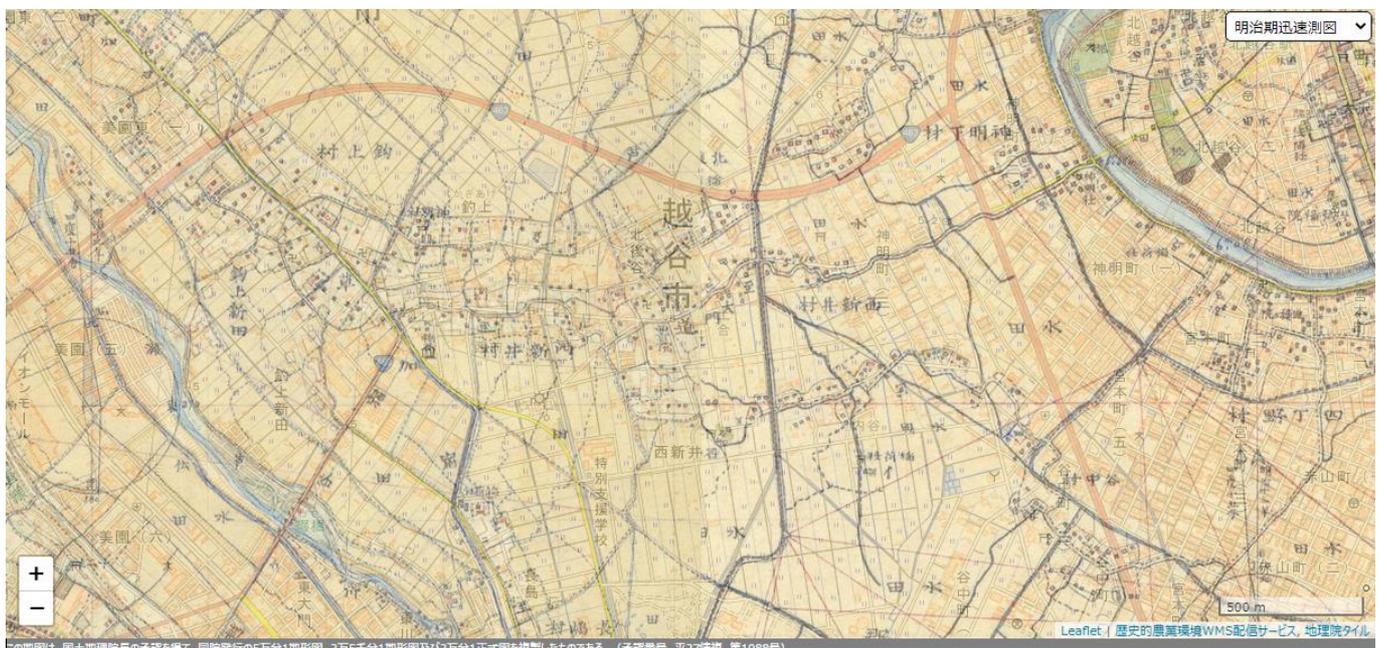


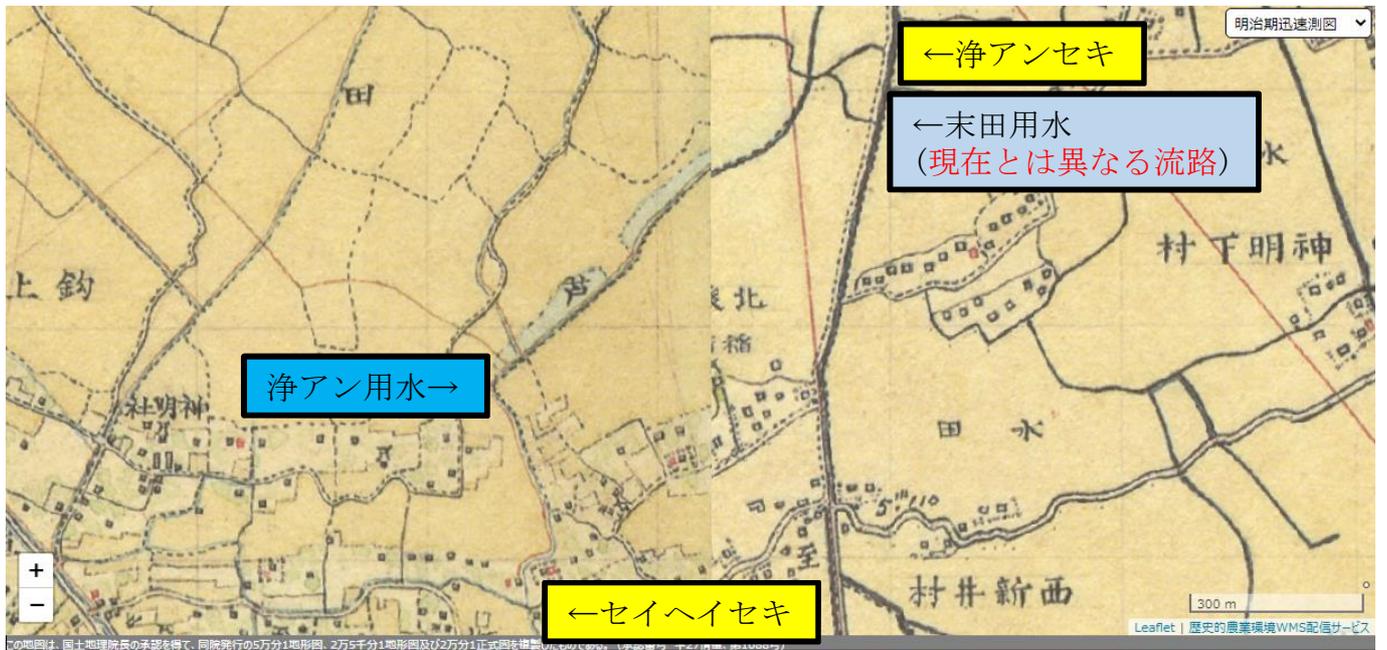
この地図は、
時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷 謙二)
URL <http://ktgis.net/kjmapw/>
を加工して作成。

明治期の「浄庵用水(堀)」の流路

※ **上段**は、①「明治期迅速測図」を
表示

下段は、①「明治期迅速測図」と
②「地理院地図(地図不透明度 30%)」を
「1画面」で表示



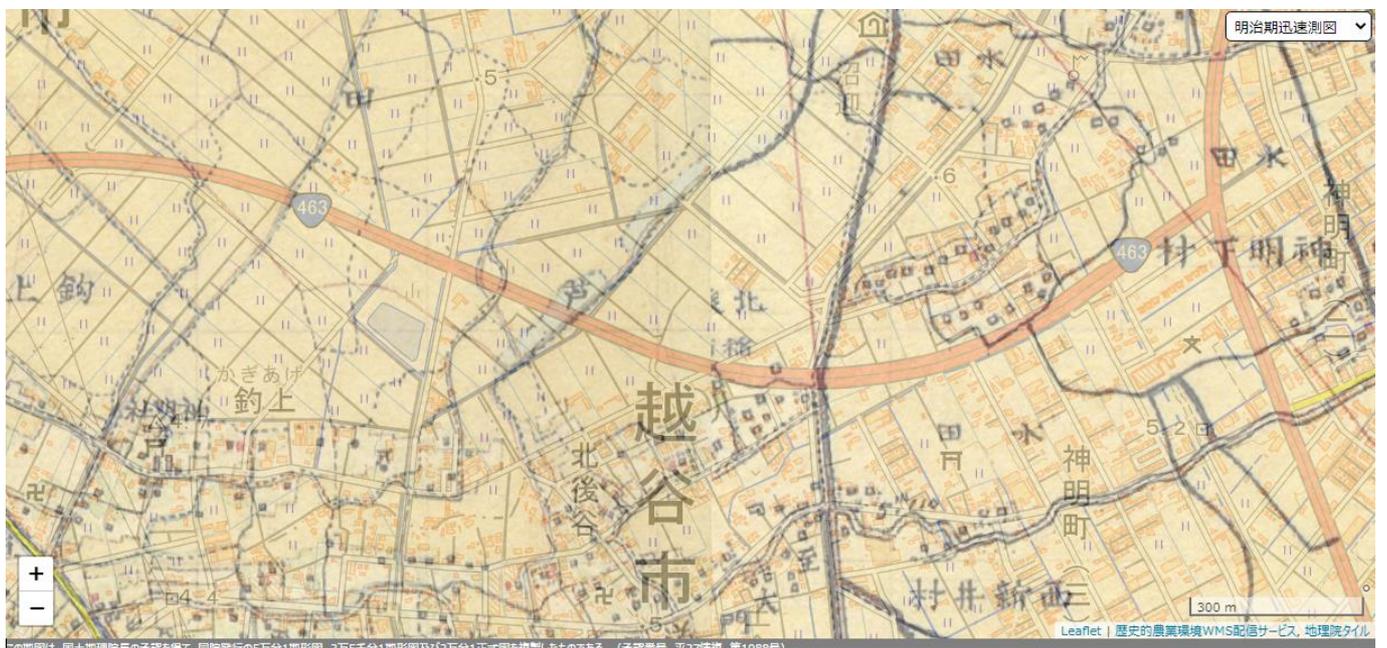


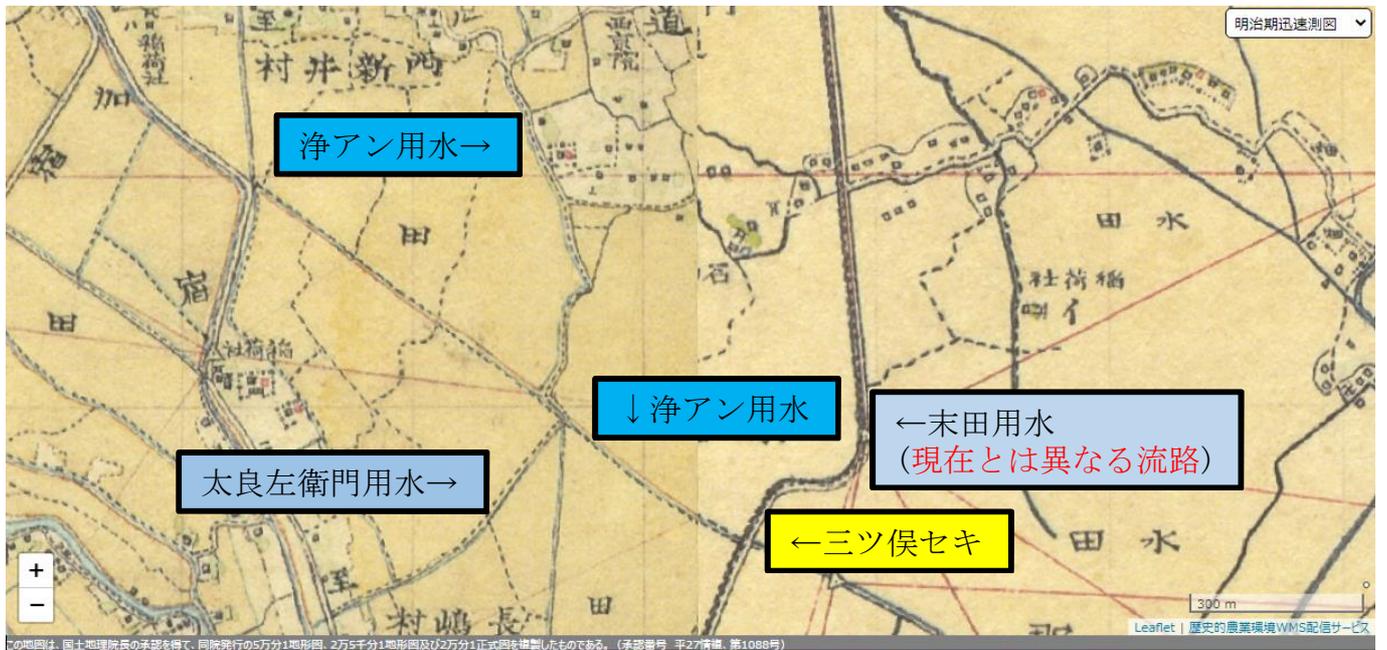
この地図は、
 時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷 謙二)
 URL <http://ktgis.net/kjmapw/>
 を加工して作成。

明治期の「浄庵用水（堀）」の流路

※ **上段**は、①「明治期迅速測図」を
 表示

下段は、①「明治期迅速測図」と
 ②「地理院地図（地図不透明度 30%）」を
 「1画面」で表示





この地図は、
 時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷 謙二)
 URL <http://ktgis.net/kjmapw/>
 を加工して作成。

明治期の「浄庵用水（堀）」の流路

※ **上段**は、①「明治期迅速測図」を
 表示

下段は、①「明治期迅速測図」と
 ②「地理院地図（地図不透明度 30%）」を
 「1画面」で表示

